

COMPANY REPORT & PROFILE

2021 Apr.1st

2021 Sep.30th

CROSSING
YAMAZEN 2021

第76期 中間報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日

証券コード 8051

株式会社 山善

Consolidated Financial Highlights | 連結財務ハイライト

第2四半期(累計)業績

売上高

238,552 百万円

営業利益

7,487 百万円

経常利益

7,464 百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益

5,613 百万円

通期業績予想

売上高

490,000 百万円

営業利益

13,000 百万円

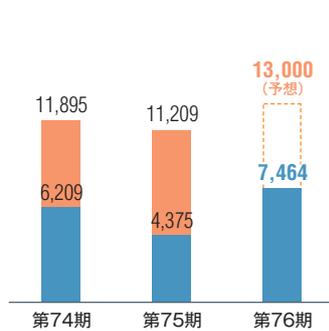
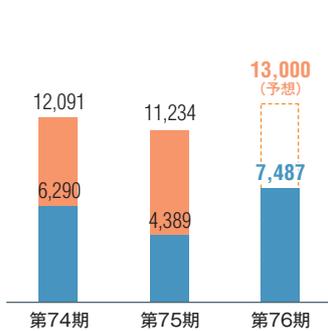
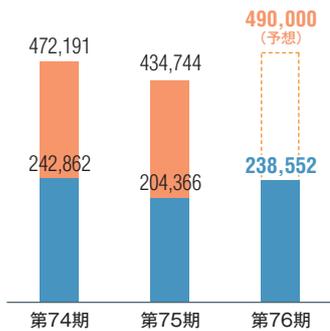
経常利益

13,000 百万円

親会社株主に帰属する当期純利益

9,000 百万円

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)



▶ さらに詳しい財務情報は当社IRサイトをご覧ください。

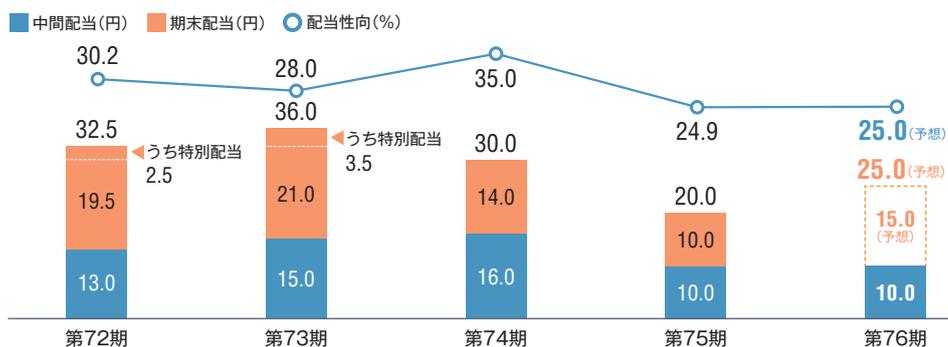
山善 IR

検索

配当について

当社は、安定した財務基盤の確立と収益力の向上を図り、株主の皆様への安定的な配当の継続を基本に、自己株式の取得も含め、利益水準を考慮して利益還元を行うことを基本方針としております。

当期の中間配当は1株当たり10円とさせていただきます。また、期末配当は1株当たり15円を予定しております。



『CROSSING YAMAZEN 2021』 最終年度を迎えました

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
 当社、第76期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の第2四半期決算を行いましたので、ご報告申し上げます。
 当社グループの主な事業領域は、生産財と消費財であり、「設備投資」と「個人消費」の動向が業績に影響を及ぼします。当社グループを取り巻く事業環境として、設備投資については、新型コロナウイルスのワクチン接種が世界各国で進み、グローバルな経済活動の再開に伴って、中国需要の拡大とともに欧米や日本でも製造業の回復は顕著となりました。特に国内においては、裾野の広い自動車産業で、脱炭素化等に向けた設備投資が徐々に始まり、幅広い産業における生産稼働率も上昇し、工作機械等の受注が伸びました。また、昨年度から好調である半導体産業はより一層伸長しました。一方、国内の個人消費については、雇用と所得環境に対する先行き不透明感は拭えない状況ではありますが、テレワーク等に関連する消費財の需要は継続しました。また、住宅設備関連の消費財においては、新設住宅着工戸数が「持家」を中心に好調に推移していることや、設備機器の更新需要が顕在化してきたこともあり、住宅設備機器の需要も好調でした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は238,552百万円となりました。営業利益は7,487百万円、経常利益は7,464百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,613百万円となりました。

当期が最終年度である3カ年中期経営計画「CROSSING YAMAZEN 2021」では、「国内事業の強化」、「グローバル展開の加速」、「機能商社化による収益力強化」、「eコマースの拡充」及び「事業拡大を支える経営基盤の強化」を方針に掲げており、引き続き、生産財関連事業と消費財関連事業の拡大に注力してまいります。

今後とも当社グループは、モノづくりを支え、快適生活空間を創造する商社として、世の中の変化を的確に捉え、スピード感をもって対応することで、収益の拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



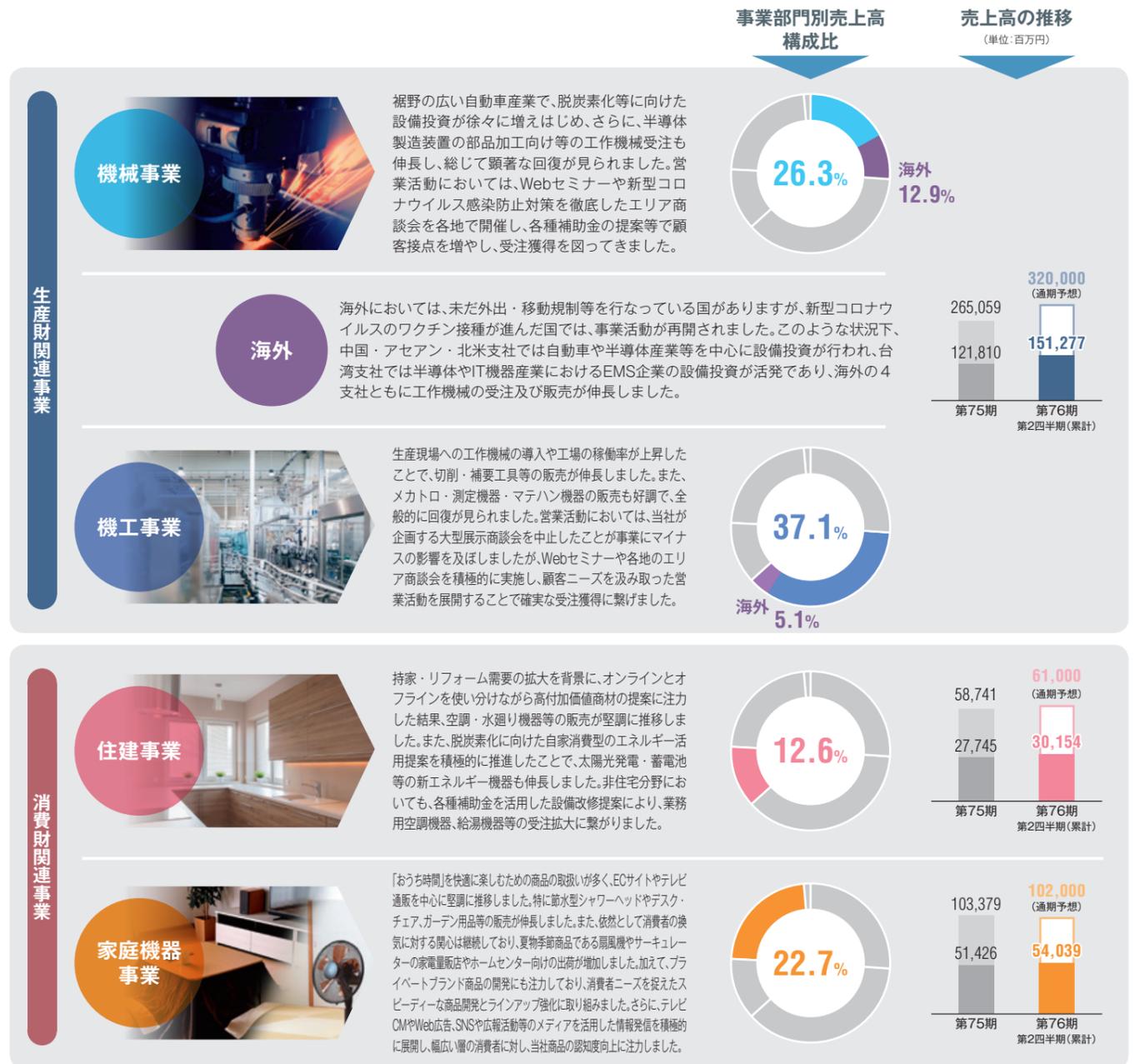
代表取締役社長

長尾雄次

President, CEO
Yuji NAGAO



※中期経営計画「CROSSING YAMAZEN 2021」の詳細につきましては、当社ホームページをご参照ください。



山善、この半期

2021.4.1 ~ 2021.9.30

中期経営計画 5つの大方針

- 国内事業の強化
- グローバル展開の加速
- 機能商社化による収益力強化
- eコマースの拡充
- 事業拡大を支える経営基盤の強化

eコマースの拡充

上期 **テレビCMを放映**

在宅勤務の定着に伴い、当社のデスク・チェアや生活家電などが昨年に引き続き好調でした。上期は「電動昇降デスク」(4月)、「コンパクトクーラー」(6月)、「減煙焼き肉グリル」(9月・10月)のテレビCMを放映し、山善ブランド商品の市場での認知度を上げるとともに、当社が生活シーンを快適に彩る商品を多数取り扱っていることを、消費者に向けて発信しました。

機能商社化による収益力強化

7月 **自動化ロボットのパッケージ商品の販売開始**

当社が拡販に注力している協働ロボット・産業ロボットに、アセントロボティクス(株)のAIピッキングソフトウェアを搭載したパッケージ商品の販売を開始しました。対象物がバラ積み状態で映像認識が難しくても、対象物の3Dデータをマスタ化することで位置姿勢や上下の向きを判定し、正確にピッキング・配置を行うことが可能です。

eコマースの拡充

7月 **「ロジス新東京」を新設**

埼玉県北本市に、国内12カ所目の物流拠点となる「ロジス新東京」を新設しました。都心から約40km圏内と、物流拠点として好アクセスな立地であり、機工事業部が取り扱う切削工具・測定工具等の商品の東日本への最重要配送拠点と位置づけています。2022年春頃に一部稼働開始を予定しており、スピーディーに商品配送できる物流体制を整えていく計画です。

会社概要

(2021年9月30日現在)

商号 株式会社 山 善

創立 1947年5月30日

資本金 7,909百万円

本社所在地 大阪本社 〒550-8660
大阪市西区立売堀2-3-16

東京本社 〒108-8217
東京都港区港南2-16-2 太陽生命品川ビル

主要取引銀行 みずほ銀行・りそな銀行・三井住友銀行・
三菱UFJ銀行・みずほ信託銀行

従業員数 3,209名(連結)

建設業許可 国土交通大臣許可

取締役(2021年10月1日現在)



代表取締役社長
社長執行役員
最高経営責任者(CEO)

長尾 雄次



代表取締役
専務執行役員
営業本部長

佐々木 公久



取締役
常務執行役員
最高情報責任者(CIO)
最高財務責任者(CFO)
経営管理本部長

山添 正道



取締役
常務執行役員
機工事業部長

合志 健治



取締役
上級執行役員
営業本部 副本部長(海外担当)

岸田 貢司



社外取締役

井関 博文



社外取締役

鈴木 敦子



取締役
常勤監査等委員

村井 諭



社外取締役
監査等委員

津田 佳典



社外取締役
監査等委員

中務 尚子

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当基準日 3月31日
(中間配当を行う場合は9月30日)

定時株主総会 6月下旬

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告による公告が
できない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

株式のお手続きに関するお問合せ先		
口座の種類	証券会社等に 口座をお持ちの 株主様	証券会社等に 口座がない株主様(特別口座)
お手続きの内容		
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
お問合せ先	お取引のある 証券会社等に 直接お問合せ ください。	0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
お取扱窓口		みずほ信託銀行及び みずほ証券
未払配当金の請求*	みずほ信託銀行及びみずほ銀行	

※お支払開始日から満3年を経過した配当金につきましては、お受取ができなくなります
ので、ご注意ください。



当報告書には財政状態及び経営成績に関する将来予測の記述が含まれております。
この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれております。

